

09/02 - 09/08

大阪ヘルスケアパビリオン
「リボンチャレンジ」



未来社会の新たな
コミュニケーションツール
次世代モビリティを発表



世界各国の一流ブランドや自社開発品を展開



万博会場でのスタッフ利用に採用された「VICCI」(会場では万博仕様品に)



身近なライフスタイルへの新たな挑戦が世界を変える

スポーツ自転車に特化して幅広く事業を展開

2024年に創業80年を迎えた株式会社アキボウ。1989年からスポーツ自転車の卸販売事業をスタートしその販売網を全国に拡げてきました。一方で単なる卸売販売だけではなく、独自の企画デザインでの商品開発でグローバルな視点を置きながら日本市場のニーズにマッチした商品の提供ができる「モノづくり商社」であることが同社の強みだとしています。

また、顧客にとって魅力的なのは豊富な品揃えです。それぞれ特徴あるブランド群の取り扱いにより、Eバイク、ロードバイク、クロスバイク、折りたたみ自転車など多様な商品をラインナップしています。

2023年度に立ち上げたオンラインプラットフォーム「SHIFTA」では、独自取材による自転車についての多彩な情報コンテンツを提供するとともに、オンラインでの販売を行い顧客の利便性を高めています。

これまでにない「次世代モビリティ」を万博から世界に発信

大阪・関西万博では「モビリティ革命」をテーマに、未来のコミュニケーションツールとして次世代モビリティを展示し、世界に発信します。展示する製品(次世代モビリティ)は、もともと同社が未来に向けた取組として開発を行っていたもので、最高のタイミングで開催される大阪・関西万博は、その発表にふさわしい舞台になると考えています。新たなライフスタイルを創り出すこれまでにないモビリティの全容は、展示当日のお楽しみです。

また、同社の折りたたみ式Eバイク「VICCI」は、大阪・関西万博の「スマートモビリティ万博」事業のサプライヤーに採用されており、万博会場内のスタッフの移動に使用されます。

楽しめるだけでなく、さまざまな社会課題の解決にも期待

今回発表される次世代モビリティは、ただの移動手段としてだけでなく、老若男女を問わず誰もが安全安心に楽しめる新たなコミュニケーションツールとして、アトラクションでの利用や、観光業・運搬業などのビジネスでの利用など幅広い可能性を秘めています。また、高齢化による運動機能の低下に起因する自転車での段差転倒事故が増加している問題や、免許返納や過疎地のバス廃止などによる移動手段の減少、またオーバーツーリズム問題、温室効果ガス問題など、さまざまな社会課題の解決にも役立つと考えています。

企業概要

所在地 〒591-8023
堺市北区中百舌鳥町5-758
TEL 072-258-4005
設立年 1944年
資本金 6,650万円
従業員 49名

公式サイト

さかしる



80年の歴史と実績を礎として、次代への大きな挑戦の機会に



代表取締役社長
西木 一彦 さん

大阪ヘルスケアパビリオンのテーマ「MiraiのJapan cultureが生活を変える！」に、当社の企業理念やモットー、さらには「未来に向かって時代を先取りしながら新しい付加価値を創造・提供するバリューパートナーであり続ける」というビジョンとの親和性を感じたことから応募し、創業80年の記念すべき年に決定したことを喜んでいきます。次世代モビリティを発表できるこれ以上ない機会に、将来に向けて多方面の用途に展開する第一歩になると考えています。モビリティの進化は、まだ始まったばかりです。

事業内容

自転車及びその部品・アクセサリ等の輸入、国内卸売販売。自動二輪の部品並びに付属品の輸出入。不動産業

主な取引先(納入先)

国内外自転車・パーツ・アクセサリ販売会社、国外自動二輪の部品及び付属品販売会社

主な製品・サービス等

自転車、自転車パーツおよびアクセサリ
自動二輪の部品および付属品
自転車部品・付属品、不動産業